

Feel the arts 伝国の杜だより

米沢市上杉博物館
置賜文化ホール
Autumn 2017
Vol.32

重要美術品 短刀 銘 吉光(号 五虎退)(個人蔵)

大唐二渡テ五虎にげと名付
——『能阿弥銘尽』より



特別展

上杉家の名刀と三十五腰

会 期／ 9月23日(土・祝) ▶ 10月22日(日) 会期中は無休

戦国時代の雄 上杉謙信は、数多くの刀剣を収集したことで広く知られています。また、その跡を継いだ養子景勝も、謙信の刀剣を継承し、自ら「上杉景勝自筆腰物目録」を記すなど愛刀家でありました。このため、上杉家伝来の刀剣類には優品が多く、国宝や重要文化財に指定されたものも少なくありません。

そこで本展では、各地で守り伝えられてきた謙信・景勝ゆかりの刀剣を中心に、上杉家重代の名刀を一堂に集め、名品の数々をご覧ください。



講演会「上杉家の名刀を語る」

10月21日(土) 14:00～16:00 (開場13:30)

会 場／伝国の杜 置賜文化ホール

料 金／無料 定員／500名 ※要申込

講 師／角屋 由美子 (米沢市上杉博物館学芸員)

関口 真規子 (埼玉県立歴史と民俗の博物館学芸員)

志田 理子 (佐野美術館学芸員)

申込方法／往復はがきのみで受け付けます。

記入事項／往信面の裏：郵便番号、住所、氏名(ふりがな)、年齢、電話番号、参加希望人数(2名様まで)、同伴者のお名前

返信面の表：郵便番号、住所、氏名

申込締切／9月30日(土)必着

宛 先／〒992-0052 山形県米沢市丸の内1-2-1 米沢市上杉博物館

「上杉家の名刀と三十五腰」講演会係

※応募多数の場合は抽選となり、締切後に抽選結果をお知らせします。

講演会ご参加の方にはオリジナル五虎退グッズをプレゼント!

国宝「上杉本洛中洛外図屏風」原本展示

9月23日(土・祝) ▶ 10月22日(日)

～つながる夢 むすぶ絆～
東北中央自動車道
(福島～米沢間)
平成29年度 開通予定 無料

特別展

会期、講演会情報は表紙をご覧ください。

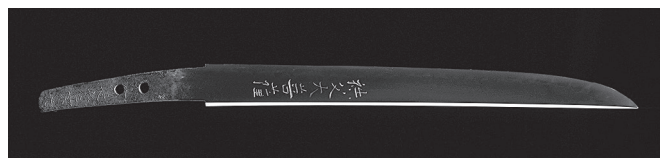
「上杉家の名刀と三十五腰」

主 催 米沢市上杉博物館・文化庁

後 援 米沢信用金庫

料 金 一 般820 (650) 円、高大生510 (400) 円、
小中生350 (280) 円 ※()は20名以上の団体料金
※常設展示室と一体型。この料金で全館ご覧いただけます。

主な出品資料

・国宝 短刀 銘 備州長船住景光／元亨三年三月日 (写真)
附 黒塗脇差拵 埼玉県立歴史と民俗の博物館蔵

・重要文化財 太刀 無銘 (伝元重)

上杉神社蔵

・重要文化財 太刀 銘 守次

革包太刀拵

文化庁所有

・重要文化財 太刀 銘 備州長船

兼光／延文三年二月日

・重要美術品 太刀 銘 国宗

附 戒杖刀 (号 備前三郎)

・重要美術品 太刀 銘 長谷部

国信 (号 唐柏) 附 黒漆打刀拵

・重要美術品 刀 銘 備州長船兼光
／康永三年十一月日 (号 水神切)

以上4件は個人蔵

・重要美術品 脇差 銘 相模国住人

広光／康安二年十月日 (号 火車切)

附 黒漆打刀拵

佐野美術館蔵

・山形県指定文化財

紫糸威伊予札五枚胴具足

(上杉景勝所用)

上杉神社蔵

・太刀 無銘 (菊作) 附 黒漆打刀拵

東京国立博物館蔵

・太刀 無銘 (守家) 附 黒塗千段巻鞘打刀拵

宮内庁三の丸尚蔵館蔵

*太刀 銘 一 (号 姫鶴一文字) は当館では展示しません。

◆ギャラリートーク (展示解説)

9月23日 (土・祝) 「展覧会見どころ解説」

10月7日 (土) 「上杉家の名刀」

各回14:00～、企画展示室にて、要特別展入館料

重要文化財 白綾裏菊文
胴服 上杉神社蔵重要文化財 剣 無銘
金銀象嵌
附十二支蒔絵鞘
上杉神社蔵お得
情報

常設展とセットで見よう、コレクション展

コレクション展のみの入館料は

一般200 (160) 円、高大生100 (80) 円、小中生50 (40) 円

常設展のみ、または常設展とコレクション展セットの入館料は

一般410 (320) 円、高大生200 (160) 円、小中生100 (80) 円

常設展をご覧になる場合、セット券がお得です。ご利用ください。

※()内は20名様以上の団体料金

コレクション展「初公開 上杉家ゆかりの名品と地域の歴史を語る資料」

会 期 平成29年10月28日(土)～平成30年1月14日(日)

12月4日(月)より一部資料を展示替え

休館日 11月22日(水)、12月以降の毎週月曜日(祝日の場合翌日)
年末 (12月25日～12月31日)

※正月三ヶ日も開館します。

平成18年度以来の新収蔵品展として、10年分の収集資料のうち全て初公開の資料を展示します。謙信はじめ上杉家歴代の書状と書跡、米沢藩士家伝来の武具や文書、川中島合戦の絵画、地域を描いた絵地図や絵葉書など、多彩な資料を紹介します。

「上杉鷹山正月図」(部分)
広瀬山筆 江戸時代

◆だれもしらない博物館

11/3 (金) 10:00～ 詳細は右ページ

◆ギャラリートーク (展示解説)

10/28 (土) 10:00～「展覧会のみどころ」

11/18 (土) 14:00～「米沢藩士の仕事と教養」

12/9 (土) 14:00～「昔の正月準備を語る」

・企画展示室にて、要入館料

11月3日 (金・祝)
東北文化の日
入館無料

コレクション展「米沢ゆかりの絵師たち part4」

会 期 平成30年2月3日(土)～3月18日(日)

休館日 毎週月曜日 (祝日の場合翌日)

画家が「絵師」と呼ばれていた時代、絵師たちはどのようにして学び、制作し、生計を立てていたのでしょうか。館蔵のコレクションから米沢藩のお抱え絵師の家系、目賀多家の絵師の作品を中心に、作品制作の過程にもスポットを当てます。また、周辺の絵師の作品も交えて紹介します。

◆ギャラリートーク (展示解説)

2月3日 (土)、2月24日 (土) 各回14:00～ 企画展示室にて
要入館料「花鳥図屏風」
目賀多探雲筆
江戸時代 八曲一双

常設展示室上杉文華館 年間テーマ：謙信を生んだ一族・長尾氏

下半期の展示およびコレクショントーク (CT、展示解説) の予定

国宝「上杉家文書」をテーマに沿って入れ替えながら常時展示しています。上杉本洛中洛外図屏風(複製)もご覧いただけます。

①9月28日 (木)～10月24日 (火) 「為景への期待～関東から」 CT 10月1日 (日)

②10月26日 (木)～11月21日 (火) 「文化交流」 CT 10月29日 (日)

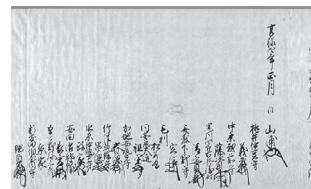
③11月23日 (木・祝)～12月24日 (日) 「越後武士を支配下へ」 CT 11月26日 (日)

④1月1日 (月・祝)～1月28日 (日) 「長い内乱へ」 CT 1月7日 (日)

⑤1月30日 (火)～2月25日 (日) 「朝廷を頼りに」 CT 2月4日 (日)

⑥2月27日 (火)～3月25日 (日) 「兄晴景」 CT 3月4日 (日)

CTは各回14:00～ 要常設展入館料



越後衆連判軍陣壁書 (部分)

教育普及事業 2017.10～2018.3

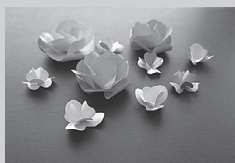
プレイショップ

体験学習室で造形プログラムを毎日無料で体験できます。

9/23—11/23

紙でつくる
立体のお花

1枚の紙から立体的なお花ができます。



11/26—2018/1/25 **型絵染のカードづくり**
型紙をつかった日本の伝統の技を体験！

1/27—3/22 **紙粘土で春の和菓子**

季節を大切に、美しい和菓子のデザインを見つけましょう。

※申込不要ですが、団体利用は事前にご連絡下さい。
※詳細なスケジュールはHPでご確認ください。
※ワークショップなどのある日はお休みです。

■出前授業、学校連携の事例などはHPに掲載。
お気軽にご相談ください。
お問合せ0238-26-8001(教育普及担当)

秋はゆっくり 博物館でものづくりをしてみませんか

募集制ワークショップ 参加費はすべて500円、要予約、定員は各20名

9/30 (土) 10:00～15:00

「樹脂絵具で描くステンドグラス」

対象：高校生以上 募集：8/29～

建築の中のステンドグラスを樹脂絵具の具で再現します。

10/15 (日) 13:30～16:00

「羊毛フェルト基本のきほん」

対象：小学4年生以上 募集：9/12～

講師：佐々木美紀子さん
羊毛フェルトの基本
作業を学びます。

10/28 (土) 13:30～16:00

「紋切りあそび～折が生み出す
美しい形～」

対象：中学生以上 募集：9/12～

日本の伝統「紋切り」で
美しい紙の造形を体験し
ます。



紋切りあそび
(三橋)

11/3 (金・祝) 10:00～12:00

「だれもしらない博物館
～博物館バックヤードツアー～」

対象：どなたでも (博物館の裏側に興味のある方) 募集：10/3～

普段は入る機会のない収蔵庫、調査室などの裏
側をめぐる、博物館の役割を体感します。

11/19 (日) 13:30～16:00

「粘土でクリスマスオーナメントづくり」

対象：中学生以上 募集：10/3～

11/25 (土) 10:00～15:00

「ムーミンのクリスマスカードをつくろう」

対象：小学生以上 募集：10/3～

収蔵文化財総合データベース、公開中 <http://www.denkoku-no-mori.yonezawa.yamagata.jp/togodb/index.html>

昨年7月に「米沢市上杉博物館・市立米沢図書館収蔵文化財総合データベース」をウェブ上で公開してから1年以上が経過しました。当初から国宝「上杉家文書」全点や、主な美術作品、図書館所蔵の古典籍類を公開しており、その後も武具や工芸品、上杉景勝や鷹山といった上杉家歴代に関する古文書や書跡、米沢藩士各家伝来の歴史資料、郷土出身作家の美術作品などを追加しました。現在、1万3000点以上の資料情報を公開中です。解説や資料写真も、少しずつ追加しております。

両館が所蔵する貴重な文化財、地域の歴史資料や絵画資料、古典籍の数々をぜひご覧ください。



収蔵品

学芸ノートから

そうろさんこず

「草蘆三顧図」(部分)

おだぎりかんしゅうけん
小田切寒松軒

1761(宝暦11)年 紙本着色 三面 27.9×132.7cm

「三国志」は、現代でも広く支持されている古代中国乱世の歴史物語で、歴史書としての『三国志』(『正史』)と、『正史』をふまえた長編歴史小説としての『三国志演義』があります。日本にも早くからもたらされ、歌舞伎や人形浄瑠璃、絵画作品の画題としても親しまれてきました。

「草蘆三顧図」は、劉備が関羽・張飛を引き連れて諸葛亮の草蘆(庵)を3度にわたって訪れ、礼をつくして軍師として迎



え入れたという「三顧の礼」の由来となった場面です。この作品は3枚1組の内の1枚で、雪の中3人が草蘆を訪れる様子が描かれています。『三国志演義』では2度目の来訪が雪の日で、庵の中にいたのは諸葛亮ではなく、弟の諸葛均だったと記されていることから、この場面は2度目の来訪を描いたものと推測されます。

「三国志」にまつわる画題は、狩野派の絵師の中でも広く受容され、中でも「草蘆三顧図」は、伝統的な山水閑居図(俗世間から離れて静かに暮らす隠遁者を描く)などとも調和して好まれ、多くの作例が残されています。

本作作者の小田切寒松軒(1690～1774)は、米沢藩の絵師目賀多守息に師事し、狩野派を学んだ絵師です。門下筆頭の名手と讃えられ、人物花鳥に秀でていたとされています。本作も細やかな筆致と鮮やかな色彩により丁寧に仕上げられています。

コレクション展「米沢ゆかりの絵師たち」で展示予定ですので、ぜひご覧ください。

11/3(金・祝)
15:00～

レ・タンブル&ハルモニア・レニス

イタリアとスペインのバロック音楽



レ・タンブル&ハルモニア・レニス

ブルージュ国際古楽コンクールに優勝し、フランスを中心に活動するレ・タンブルと日本を拠点に活動するハルモニア・レニスの、2つのアンサンブルのコラボレーションによるコンサート・ツアーの米沢公演です。

戦国時代に宣教師たちが伝え、織田信長や豊臣秀吉らも聴いたと言われるヨーロッパの音楽。その時代の情熱溢れるイタリアとスペインの音楽を、伊達氏と上杉氏ゆかりの城下町、米沢の地で演奏いたします。

学校の音楽の時間に触れていたリコーダーだけでなく、チェンバロやヴィオラ・ダ・ガンバなど、現在では演奏される機会の少なくなった古楽器たちも登場。コンサート終了後はステージ上にて、演奏家による楽器紹介やデモンストレーションを行います。

【メンバー】

水内謙一 (リコーダー)
川久保洋子 (ヴァイオリン)
ミリアム・リニョル (ヴィオラ・ダ・ガンバ)
村上暁美 (チェンバロ&オルガン)
ジュリアン・ヴォルフス (チェンバロ&オルガン)

ticket

全席自由 一般 1,500円
学生 500円
(当日 各500円増)

※未就学児は入場不可(託児サービスあり)

各プレイガイドにて好評発売中

プレイガイド 伝国の杜/大沼米沢店/
米沢楽器店/音楽アズム館/
チケ探 (<http://ticketan.net>)

10/7(土)
10:00～

おきたまの秋空に響け! 吹奏楽の日コンサート2017



昨年のコンサートより

置賜版「吹奏楽の日」は、毎年この季節に開催しています。地区内の吹奏楽団体が運営から出演までの役割を分かち合い、約800人の出演者とお客様で会場は盛り上がります。内奏(ホール)と庭奏(ピロティ)の会場で、吹奏楽に浸る楽しみは格別。松が岬公園を観光中の方もつい足を止めて聴いています。出演団体や演奏曲目等の詳しいタイムテーブルは、伝国の杜ホームページ等で9月下旬に発表予定。

入場無料

10/29(日)
18:30～

Jazz Café Live

～東北中央自動車道開通記念～



ミュージアムカフェ恒例のジャズライブにフルート奏者のMiyaを迎えます。カフェではドリンクメニューなどで福島の味を表現。福島をより近くに感じるLiveにどうぞお越しください。

Miya (フルート奏者/作曲家)

ジャズ、即興の手法を通して国際的に活動。山下洋輔をフィーチャーしたユニット「Axis Mundi」の他、様々な形態で独自の音楽を追求している。

ticket

好評発売中

全席自由 1,000円(当日1,200円)

会場:ミュージアムカフェCulture(定員80名)

※未就学児は入場不可(託児サービスあり)

(1) 伝国の杜で

- ◇土・日・祝日を含め開館日の9時から17時まで取り扱い。
発売初日も9時から購入できます。
- ◇事務室での購入か、電話予約が可能です。
予約後は1週間以内に事務室で引き換えをするか、郵便振替をお願いします。

(2) プレイガイドで

- ◇公演ごとに決められたプレイガイドで、各店舗の営業時間内に購入できます。
- ◇主催者の都合により販売期間内にプレイガイドでの取り扱いを終了する場合があります。
- ◇「チケ探」での取り扱いチケットは、パソコンやスマートフォンから購入できます。

※購入後は主催者の都合で公演が中止となる場合を除き、払い戻しできませんのでご注意ください。

ticket

チケット購入方法

託児サービス

観たい公演をあきらめなくてもいいサービスがあります

お子さま連れでも安心♪
ぜひご利用ください!

- 利用料 1,000円
- 対象 6か月以上から
小学校入学前まで



※要事前申し込み

お問い合わせ
0238-26-2666 (伝国の杜 置賜文化ホール)

※掲載の内容は追加・変更となる場合があります。

1/28(日)
14:00~

アキラさんとまこと君 二人のオーケストラ



©おふいすベガ



【出演】
宮川彬良 (ピアノ)
平原まこと (サクソフォン) ほか



©イズミコ

“永遠に勝ち負けのない2人の心・音・バトル!”
NHK朝の連続テレビ小説「ひよっこ」の音楽を担当したアキラさんこと人気作曲家・宮川彬良と、実は番組の音楽演奏にも参加した、我が国を代表するサクソ奏者、平原まことのデュオ。曲は「風のオリヴァストロ」「ニューシネマ・パラダイス」、「サッチャー」などを演奏予定。

さらにアニメ「宇宙戦艦ヤマト」テーマなどを、オリジナル編成でお届けします。

ticket

一般発売日10/26(木)

伝国の杜FC会員先行予約期間 10/18(水)~10/22(日)

全席指定 前売3,500円(当日4,000円)

※未就学児は入場不可(託児サービスあり)

各プレイガイドにて好評発売中

プレイガイド 伝国の杜/大沼米沢店/米沢楽器店/音楽アズム館/
チケ探 (<http://ticketan.net>)

こども狂言クラブ



狂言「柿山伏」

置賜文化ホールでは、地域にゆかりある日本の伝統文化「能楽」を継承していくため、こども狂言の稽古、発表に取り組んでいます。小中高生が和泉流萬狂言の一門による指導のもと、一年を通して活動しています。

平成29年度 下半期活動計画 (予定)

10月28日(土) 「置賜こども芸術祭」出演 (長井市民文化会館)

12月10日(日) 「ポーラ伝統文化振興財団ゼミナール」出演 (伝国の杜)

2月10日(土) 「上杉雪灯籠まつり雪に舞う会」出演 (伝国の杜)

3月21日(水・祝) こども狂言クラブ春休み発表会 (伝国の杜)



着物着付研修

米沢市市民文化会館からのお知らせ 米沢市市民文化会館にぎわいづくり支援事業

2/6(火)
19:00~

DRUM TAO 2018



ニューヨーク・Newsweek誌が「日本を売り込む「顔」になる!」と賞賛したTAO。最新作では、日本の伝統芸術を、最先端のエンターテインメントに繰り広げる。舞台上を一気に駆け抜ける「疾走感」、思わず感涙し、口遊むような旋律。美しくも圧倒的なパフォーマンスと最新の映像テクノロジーが融合する、「THE 日本エンターテインメント」。



■入場料/全席指定 一般5,000円 高校生以下2,500円

※「米沢市市民文化会館にぎわいづくり支援事業」により特別料金になっております。

※未就学児の入場は不可。完売の際はご容赦ください。

■一般発売日/11月9日(木)

■プレイガイド/米沢市市民文化会館、ローソンチケット、イープラス、チケットぴあ

■平成29年4月29日(土・祝)～6月18日(日)
特別展「戦国時代展」

3館巡回の特別展として、合戦の様子を伝える歴史資料、貴重な美術工芸品が一堂に展示されました。教科書で見たことのある著名な文化財も多く、2万人以上のお客様は充実した展示を満喫していたようです。



■平成29年5月20日(土)、21日(日)
オリジナルミュージカル『梵天丸』

市民ミュージカル「伝国座」が出演し、米沢に生まれ育った戦国大名伊達政宗(梵天丸)の青年期を、歌や芝居、米織の生地が映えるダンスなどで表現しました。



Photo by K.Kashiwaya

■平成29年7月29日(土)
企画展「ドールハウスへの招待Ⅱ」
オープニングギャラリートーク

箱根ドールハウス美術館館長の新美康明氏に、ドールハウスの歴史と魅力についてお話をいただきました。世界的なドールハウスコレクターでもある新美館長のお話に魅了された1時間でした。



■平成29年7月23日(日)
春風亭昇太・林家たい平 二人会

人気と実力を兼ね備えた落語家お二人の至芸を楽しむ二人会を開催しました。当日は満席のお客様でにぎわい、客席内が終始、笑いで満たされました。



■ミュージアムショップから

国宝「洛中洛外図屏風」
グッズ大集合

上杉本洛中洛外図屏風の原本展示に合わせ、当館の洛中洛外図屏風グッズをご紹介します！図録を筆頭に、ファイルやポストカード、キーホルダーにTシャツ、扇子、ミニチュア屏風、パズル、CDなど…さまざま取り揃えております。普段使いにもお土産にもおすすめの「洛中グッズ」、ぜひ集めてみてください。



- 【写真左より・全て税込価格】
・「国宝「上杉本洛中洛外図屏風」大型廉価本」 1,231円
・キーホルダー 右隻・左隻 各777円
・CD「国宝「上杉本洛中洛外図屏風」を聴く
鈴木広志グループ×大場陽子」 2,062円
・扇子 B(秋・冬) 2,883円
▼春・夏各場面あり
・Tシャツ Sサイズ 2,062円 ▼サイズ違いあり

■Googleストリートビューで館内探検！

この度、インターネットを通じて街並みや建物内を360度ぐりと見まわせる「Googleストリートビュー」で、伝国の杜館内が見られるようになりました。

早速覗いてみると…正面玄関から入ってすぐ、おなじみの能舞台が登場。そこから左方へ向かった置賜文化ホールでは、客席内数ヶ所からステージを眺めることができます。右方は、上杉博物館の体験学習室やミュージアムショップ、情報ライブラリーを経て、突き当りのカフェまで進めます。常設展示室へ歩入ったところからは、ちらりと展示室内をご覧いただけます！

伝国の杜が初めての方や遠方にお住まいの方はもちろん、ご近所の方もぜひ、伝国の杜の中にあるような雰囲気を味わってみてくださいね。



モールの
作品展示予定

Uesugi Museum Art Collection

総合案内内では、当館アートコレクションを定期的に入れ替えながら展示しています。ご来館の際は足をとめてご覧ください。

9月28日～11月21日 *は鈴木晋コレクション

「おおきなめんどり」 田島征三*

「ヴァイオリニスト」 クロード・ワイズバッシュ*

11月23日～1月29日

「蔵書票」 芹澤銑介*

「つらつらつばき 染布」 椿夏子 (12/24まで)

「幾何学染布」 椿夏子 (1/1から)

1月30日～3月25日

「スペインの田舎町」 遠藤賢太郎

「北の海」 遠藤桑珠

その他、館内には桜井祐一「腰かけた女」(1980)、「怒りと悲しみと」(1957)を常設しています。

* 展示作品は都合により変更になる場合があります。

ナセBA (市立米沢図書館・よねざわ市民ギャラリー) からのお知らせ

10月～3月の主な事業予定をお知らせします。

- ・読書週間図書館フェア 10月26日(木)～11月9日(木)
バックヤード(書庫)ツアー、フィルムコート体験など読書に親しむ各種イベントや、雑誌のリサイクル市、雑誌の付録抽選会を行います。
- ・「我妻榮展」10月27日(金)～12月27日(水)：先人顕彰コーナー *11/12講演会
米沢出身の民法学者で米沢市名誉市民である我妻榮の生い立ちや業績を紹介します。
- ・米沢市小中学生読書感想画展 12月12日(火)～17日(日)：ギャラリー

住所 米沢市中央1丁目10-6 電話 図書館 0238-26-3010／ギャラリー 0238-22-6400



昨年のバックヤードツアー

サポーター

最近の活動から■インフォメーション

伝国の杜を訪れるお客様からご相談があると、市民としての目線で、観光スポットをお答えしたり、おすすめの食事処などをお伝えしています。「旅先で地元の方とゆっくり話せて思い出になった」、「昔の米沢を思い起こすことができて会話がはずんだ」と喜んでいただいています。

「博物館とホールがもっと身近に」

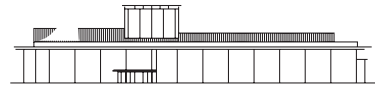
文化ボランティア「伝国の杜サポーター」は、お客様と接する活動と、影で支える活動と様々な分野があります。現在はインフォメーション、教育普及、洛中洛外図案内、図書整理などの分野で新規メンバーを募集しています。

広げよう文化ボランティアの輪

お問合せ 0238-26-8000(サポーター担当)



近隣の観光情報もご案内



「展覧会をもう一度ゆっくり見たい」

「よい席で公演が見たい」

「いろいろな情報がほしい」

「ミュージアムショップやカフェをお得に利用したい」

お得に
楽しむ
気軽に
深く知る
たくさん
学ぶ
何度も

伝国の杜ファンクラブからのお知らせ

秋の特別展「上杉家の名刀と三十五腰」をじっくり、何度も鑑賞したい方、今から入会しても十分お得です！

平成29年度
会員募集中

そんなあなたに「伝国の杜ファンクラブ」があります。

10月1日以降入会の場合、
年会費は半額になります。

平成29年度
会員
特典

- 会員証の提示で米沢市上杉博物館の特別展・企画展・コレクション展・常設展を何度でも（同伴者1名は団体割引）
- 置賜文化ホール自主事業チケットの先行予約・割引価格での購入（会員1名につき2枚まで、一部公演のぞく）
- ・募集制ワークショップに1回無料で参加（1回無料券の進呈）
- ・「伝国の杜だより」、ファンクラブ会報、そのほか催事チラシの送付（年5回程度）
- ・ファンクラブ会員向けの講座・イベントへの参加（年2回程度）
- ・ミュージアムショップで展覧会図録・オリジナル商品10%割引（委託商品のぞく）
- ・ミュージアムカフェでの10%割引（同伴者3名まで）

年会費

- ☐ 一般会員 2,500円
- ☐ 学生会員 1,000円
- ☐ ジュニア会員 500円

会員期間は4月1日
～翌年の3月末日までです。



座の文化伝承館からのお知らせ

住所 米沢市丸の内一丁目3-48
電話 0238-23-8009 火曜休館

【開催報告】

5月24日(水)
～6月5日(月)

写真とペーパークラフトで
感じる

昭和の息吹

入館者数 1,466名

米沢の風景や人々の暮らしを撮り続けた小貫幸太郎氏の写真と、市内在住のペーパークラフト作家・中村隆行氏の作品をあわせて展示しました。昭和の農村風景、仕事や暮らし、遊びまわる子どもたちの様子などが生き生きと再現されており、来館者からはとても懐かしいと大好評でした。

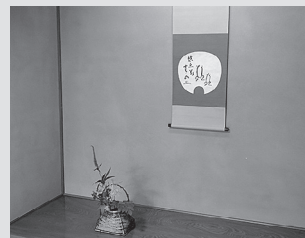


【開催報告】

6月18日(日)
第27回市民茶会

参加者数 212名
協力 米沢茶道連合会

「お茶は初めて」というお子様連れの家族や、外国人留学生、高校の茶道部員など、米沢市座の文化伝承館はこの日、大勢の来場者でにぎわいました。米沢市民に限らず遠来のお客様も大歓迎の恒例イベントとして、毎年6月第3日曜に開催しています。



ぜひご利用ください

大茶碗を
貸し出します

米沢市座の文化伝承館の茶道具「大服碗」は、通常より大きなサイズのもので、「大茶盛式」という古式の茶会に習い、作法にとらわれずにお茶を楽しむことを目的に制作されたものです。

大服の薄茶を参加が協力しながら持ち上げて回し飲みすることで、共通の達成感が生まれるのです。茶道教授者の指導のもとで館内に限り利用することができます。

【お問合せ】(公財)米沢上杉文化振興財団「市民茶会」担当 0238-26-2666



右下が通常のサイズ

	展覧会	教育普及事業	ホール
	G：ギャラリートーク C：コレクショントーク 講：講演会・講座 (企画展示室展示解説) (常設展示室展示解説) 企画展示室 ※会期中、休館日なし 9/23(土) 特別展 ↓ 上杉家の名刀と三十五腰 10/22(日) 講 10/21(土) 14:00～16:00 聴講無料、定員500名、要申込 「上杉家の名刀を語る」 G 毎回 14:00～ 9/23(土)「展覧会見どころ解説」 10/7(土)「上杉家の名刀」 常設展示室 上杉文華館 ◇テーマ 9/28～10/24 ◇為景への期待 ～関東から C 10/1(日) 10/26～11/21 ◇文化交流 C 10/29(日) 11/23～12/24 ◇越後武士を 支配下へ C 11/26(日) 1/1～1/28 ◇長い内乱へ C 1/7(日) 1/30～2/25 ◇朝廷を頼りに C 2/4(日) 2/27～3/25 ◇兄晴景 C 3/4(日)	□ 9/23～11/23 紙でつくる立体のお花 ■ 9/30(土) 10:00～15:00 樹脂絵具で描くステンドグラス ○ 10/8(日) 14:00～15:00 むかしむかしを聞こう ■ 10/15(日) 13:30～16:00 羊毛フェルト基本のきほん ■ 10/28(土) 13:30～16:00 紋切りあそび ～折が生み出す美しい形～ ■ 11/3(金・祝) 10:00～12:00 だれもしらない博物館 博物館バックヤードツアー ■ 11/19(日) 13:30～16:00 粘土でクリスマス オーナメントづくり ■ 11/25(土) 10:00～15:00 ムーミンの クリスマスカードをつくろう □ 11/26～1/25 型絵染のカードづくり □ 1/27～3/22 紙粘土で春の和菓子 記号について □：プレイショップ (申込不要) ■：募集制ワークショップ (要事前申込) ○：自由参加制ワークショップ (申込不要)	こども狂言クラブ 出演予定 10/7(土) 10:00 吹奏楽の日コンサート2017 10/28(土) 置賜こども芸術祭2017 10/29(日) 18:30 Jazz Café Live 11/3(金・祝) 15:00 レ・タンブル&ハルモニア・レニス イタリアとスペインの バロック音楽 12/10(日) ポーラ伝統文化振興財団 ゼミナール 1/28(日) 14:00 アキラさんとまこと君 二人のオーケストラ 2/10(土) 雪灯籠まつり 雪に舞う会 3/21(水・祝) こども狂言クラブ 春休み発表会
10			
11	10/28(土) コレクション展 ↓ 初公開 1/14(日) 上杉家ゆかりの名品と 地域の歴史を語る資料 ※休館日：11/22(水) 12月以降の毎週月曜日 (祝日の場合は翌日) 12/25(月)～12/31(日) G 10/28(土)10:00～「展覧会のみどころ」 11/18(土)14:00～「米沢藩士の仕事と教養」 12/9(土)14:00～「昔の正月準備を探る」 11/3(金・祝) 東北文化の日 入館無料		
12			
1			
2	2/3(土) コレクション展 ↓ 米沢ゆかりの絵師たち part 4 3/18(日) ※休館日：毎週月曜日 (祝日の場合は翌日) G 2/3(土)、2/24(土) 毎回 14:00～		
3			

国宝「上杉本洛中洛外図屏風」 室町時代 狩野永徳筆



大堰川の筏流し(部分：左隻五、六扇)

渡月橋の周辺は鮮やかな紅葉に彩られています。ここを流れる大堰川には木材を筏に組んで川を下る姿が描かれています。上流の山国荘から伐り出されて、このように運ばれた木材は朝廷に納められ、また販売もされていました。朝廷では日常の需要のほか、正月儀礼(御斎会)に使われました。

細く連ねた木材を、棹を使いながら流れに乗って運ぶには熟練の技が必要でした。平安時代末には大堰川の風物詩として謡われていました。

◆利用案内◆ ※休館日等は管理の都合上変更する場合がありますので詳細はお問合せ下さい。

〒992-0052 山形県米沢市丸の内1-2-1
0238-26-8000(代) (公財) 米沢上杉文化振興財団
0238-26-2660(FAX)
0238-26-8001(米沢市上杉博物館)
0238-26-2666(置賜文化ホール/チケット・施設利用)
ホームページ <http://www.denkoku-no-mori.yonezawa.yamagata.jp>
ブログ <http://samidare.jp/denkoku>

(公財) 米沢上杉文化振興財団ホームページ
<http://uesugizaidan.or.jp/>



博物館開館時間：9:00～17:00 (入館は16:30まで)
博物館休館日：4月～11月 第4水曜日 (休日の場合その直後の平日)
9月27日(水) は開館
12月～3月 毎週月曜日 (休日の場合その直後の平日)
年末 (今年度は12/25-12/31)
※年始 1/1-1/3は休まず開館します。
ホール休館日：毎週月曜日 (休日の場合その直後の平日) / 年末年始
博物館入館料：常設展 一般410(320) 高大生200(150) 小中生100(60)
()は20名以上の団体料金 ※特別展・企画展は別途
※特別展開催期間は常設・企画一体型料金のため異なります。

「伝国の杜」の“伝国”という言葉は、米沢藩9代藩主上杉鷹山が天明5年(1785)上杉治広に家督を譲る際に藩主の心得として与えた「伝国の辞」に由来するものです。